

授業科目名 (英文名)	経済シミュレーション	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	木村 真	所属	シミュレーション学研究所
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 本講義は、経済データの分析手法や経済シミュレーションの技法を学び、習熟することを目的としている。</p> <p>【到達目標】 到達目標は、分析目的に応じた様々な技法を理解すること、政策評価の一連の流れを理解、習得することである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 経済データの基礎、産業連関分析、線形回帰モデルや質的選択モデルによるパラメータの推定方法、統計的因果推論の基礎、応用一般均衡シミュレーションの基礎などを扱う。</p> <p>【授業計画】 経済データの基礎 所得格差の指標 産業連関分析1 産業連関分析2 応用一般均衡分析の基礎1 応用一般均衡分析の基礎2 統計分析1(相関分析・回帰分析) 統計分析2(線形回帰モデル1) 統計分析3(線形回帰モデル2) 統計分析4(操作変数法) 統計分析5(質的選択モデル1) 統計分析6(質的選択モデル2) 統計的因果推論1(基礎) 統計的因果推論2(傾向スコアマッチング1) 統計的因果推論2(傾向スコアマッチング2)</p>		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	山本拓『計量経済学』新世社 細江宣裕・我澤賢之・橋本日出男『テキストブック応用一般均衡モデリング』東京大学出版会 (以上のほかにも、必要に応じて適宜紹介する)		
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 本講義の内容を理解し、扱った手法を習得したものに単位を授与する。到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>【成績評価の方法】 レポート90%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 履修にあたっては、「経済の基礎」の単位修得をしていることを強く推奨する。 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。 		
実践的教育	該当しない。		

